

**令和6年度 施設指定管理者
モニタリングレポート(年次評価報告書)**

施設名	中央児童館
指定管理者名	株式会社日本保育サービス
指定期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和7年 3月 31日 (2期5年目)
所管課	子育て支援課

1 業務履行の確認・評価

適正な施設の運営・維持管理が行われているか。	年次評価
	B
<p>【施設の運営に関する基本的事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・当館の利用者数は7館のうち最も多く、前年度比でも4%増であった。その中で、大きなケガやトラブルもなく、安全安心な児童館運営ができています。・一方で、業務の履行確認における報告書類の提出の遅れが目立った。今後は留意されたい。 <p>【自主事業に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・幼児親子向けの「手形アート」は定番かつ人気行事となっており、当該行事を目当てにしている来館者も多かった。・登録制の親子教室は、参加者が減少するという課題解決のために指定管理者の枠を越えて4館合同で開催した。 <p>【施設の維持管理業務に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・福祉体育館との複合施設として、連携を取りながら適切に維持管理がされている。	

2 サービスの質に関する評価

提供するサービスの水準が確保されているか。 また、サービスの向上が図られていたか。	年次評価
	A
<p>【利用者アンケート(満足度調査)に関する事項】</p> <p>＜調査の概要＞</p> <ul style="list-style-type: none">・令和7年3月に利用者アンケートを実施。 <p>＜調査結果の概要＞</p> <ul style="list-style-type: none">・職員の対応や児童館の利用しやすさ等についてアンケートを実施し、9割以上の方から満足しているとの回答を得た。 <p>【自主事業に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・「プロフェッショナルに学ぶ」と銘打った児童向けの仕事紹介イベントの試みは、従来の児童館の活動を超えたキャリア教育を提供し、職業意識の醸成を促す取組であった。・インスタグラムを活用した情報発信は、現代のトレンドを捉えた柔軟な運営スタイルであり、施設の魅力向上の面で重要な成果を示している。 <p>【サービス水準や利用環境に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・「児童館のボランティアを通じて子どもたちの自主性を育む」という運営目標のもと、地域ボランティアと連携しながら、「親子リトミック」、「体操教室」、「クリスマスコンサート」などを多彩なイベントを実施した。これらのイベントを通じて、児童館が「地域交流の場」となった。	

3 サービス提供の継続性・安定性に関する評価

<p>健全な収支状況のもと、継続的・安定的にサービスが提供されているか。 また、団体の経営状況は健全か。</p>	<p>年次評価</p> <p>A</p>
<p>【施設の収支状況に関する事項】 中央児童館・北部児童館 共通事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料(令和6年度決算額30,790,000円)の中で、本部経費を除けば事業収支は黒字になっており、継続的にサービスを提供することができている。 <p>【団体の経営状況に関する事項】 中央児童館・北部児童館 共通事項</p> <p>(株)日本保育サービスの経営状況の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第21期(2024年4月1日～2025年3月31日)の損益計算書では、売上高が前期より増加している。 ・売上高から売上原価を差し引いた売上総利益金額からも当期の業績は良好である。 ・貸借対照表の純資産の合計から、財務内容は前期よりさらに健全であると言える。 	

<p>総合評価</p>	<p>B</p>	<p>【審査委員会コメント】</p> <p>前年度比で利用率が増加した点は、利用者目線でニーズに的確に応える努力を重ねた証であり、日常的な取組の質の高さによるものでもある。加えて、市内の全児童館・全児童クラブで実施した合同イベントに対する積極的な姿勢、キャリア教育の試み、Instagramの活用、県内他市の児童館とオンラインで連携して実施した合同事業などの取組から、積極性・革新性・創造性を兼ね備えていることもわかる。</p> <p>今後は、多彩な取組を継続・発展させつつ、併設の老人福祉センターや福祉体育館と、さらに連携を深めていくことを強く期待する。</p> <p>一方で、業務の履行確認における報告書類の提出の遅れが目立った点について、今後は留意されたい。</p>
-------------	-----------------	--

【年次評価】 (評価基準)

- S(優 良) : 区分評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A(良 好) : 区分評価が全てA以上。
- B(課題あり) : 区分評価にBがあった。
- C(要改善) : 区分評価にCがあった。

【総合評価】 (評価基準)

- S(優 良) : 市の要求水準を上回るサービスが提供されている。
- A(良 好) : 市の要求水準に沿ったサービスが提供されている。
- B(課題あり) : サービスの内容の一部に課題がある。
- C(要改善) : サービスの内容に改善が必要である。